

【政策】 17 個性を活かし能力を発揮して働くことができるようにする
 【施策】 1 働きたい人は働けるようにする
 【基本事務事業】 1701 多様な雇用ニーズを支援する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 就労環境と就労機会の整備
 【基本計画区分】 504 【担当課】 3931000 商工観光課

【方針(目的)】
 就労希望者の希望就労先への就職が早期にできるように支援します

【外部環境の変化】
 女性や高齢者が働きやすい環境をつくることが求められている。65歳までの雇用の確保が求められている。フリーターの増加やニートへの対策が求められている。障害者雇用の推進が求められている。

【取組み課題(現状と課題)】
 就労希望者の求職活動を支援するため、インターネットを活用した就職に関する情報提供を充実します。若者の就労を支援するため、国、県と連携して企業の就職情報の提供を充実します。障害者雇用の法定雇用率達成に向け、国・県と連携して情報提供などを進めます。

コード 配下事務事業名
 170101 雇用促進事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 レッツまつどアクセス数 52000 53500 55000
 (件)
 若者就労支援講座参加者数 25 25 25
 (人)

【内部要因(強み・弱み)】
 勤労会館が設置され、勤労者の福利厚生がなされてきた。団塊の世代の大量退職が始まり、経験やノウハウを地域で活かしたい人が増える。若者の就労を支援する講座を継続してきた。障害者の雇用が増えない。

【目指す成果(今後の方針)】
 就職希望者の就職が促進されます。フリーターなどの正規雇用が促進されます。障害者の雇用が促進されます。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 170101 雇用促進事業		担当課: 3931000 商工観光課					会計区分 一般会計					計画区分 計画事業				
【目的】 就職したい市民の希望就職先への就職が早期に実現できるように支援する		【指標】 若者支援講座参加者の就職率 (%)	【指標概要】 就職者数/参加者数 講座参加者の就職率を把握する	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】 計画額 (一般財源) (単位: 千円)	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	職員数 (単位: 人)	【関連する業務名称】 公共職業安定所雇用促進協会補助 創業支援業務 若者就労支援業務 求人・就職雇用促進業務 障害者雇用促進奨励補助金 求人求職対策支援業務		
				30	31	32	33	5,494	5,494	6,806	6,806	6,806	1.95	1.95	1.95	1.95
【対象】 就職したい市民		障害者雇用率達成割合 (%)	障害者法定雇用率を達成している企業の割合(6.1調査の結果から)	40.9	44	48	51									
【事前評価コメント】 求人求職両者の求めるものにギャップがあり、雇用のミスマッチが発生している。いかに両者を効率的に妥協と統合の過程へ導けるかが課題であることから、今後は求人求職両者の要求を把握し、更なる多様なマッチングの機会を充実していく。																

【計画事業】

【実施計画番号】 98 【計画事業名】 就職希望者の求職活動を支援する為、インターネットを活用した就職に関する情報提供を充実します 他2事業
 【節項コード】 504 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項名】 就労環境と就労機会の整備

	H20	H21	H22
計画	登録企業数 300 掲載求人数 100 サイト利用による就職者数 25	登録企業数 350 掲載求人数 120 サイト利用による就職者数 30	登録企業数 400 掲載求人数 140 サイト利用による就職者数 35
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

【実施計画番号】99 若者の就労を支援するため、国、件と連携して就労支援講座、企業の就職情報の提供を充実します
 雇用の法定雇用率達成に向け、国、県と連携して情報提供などを進めます

【実施計画番号】100 障害者

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 17 個性を活かし能力を発揮して働くことができるようにする
 【施策】 1 働きたい人は働けるようにする
 【基本事務事業】 1702 職業能力の向上を支援する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 就労環境と就労機会の整備
 【基本計画区分】 504 【担当課】 3931000 商工観光課

【方針(目的)】 勤労者及び求職者の職業能力を向上させ、雇用の安定を確保する
 【外部環境の変化】 労働力不足により、高齢者、女性、若者の就労が求められていることから、就職に有利な職業訓練のニーズがある
 【取組み課題(現状と課題)】 施設の利用者は増えているが、職業訓練生は減っている。生涯学習分野の利用者が増加している。
 コード 配下事務事業名
 170201 松戸地域職業訓練センター関係事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 訓練講座受講者数 19000 19200 19400
 (人)
 ()

【内部要因(強み・弱み)】 職業訓練センター、勤労会館があり、職業能力事業を継続してきた
 【目指す成果(今後の方針)】 企業に求められる人材となり、安定的労働を確保するために、ビジネス能力の向上が求められている

【事務事業】 170201 松戸地域職業訓練センター関係事業		担当課: 3931000 商工観光課				会計区分 一般会計					計画区分 一般事業					
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
訓練センターは、中小企業労働者及び求職者等に対し各種職業教育訓練を行なう。事業主、事業団体等に施設を提供することなどで、地域の労働者の教育訓練体制を確立する。	センターの利用時間帯で区分した延べ利用回数 (件)		1594	1650	1700	1750	計画額 (一般財源) (単位:千円)	17,468	17,595	17,595	17,595	17,468	17,595	17,595	17,595	17,595
	講座参加者数 (人)		34806	34900	34950	35000	職員数 (単位:人)	0.55	0.55	0.55	0.55					
【対象】 中小企業労働者、求職者及び職業訓練を行なう事業主等	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 運営費補助金 講座開催等業務									
【事前評価コメント】 労働市場の流動化により、雇用状況が急速に変化していることから、人材育成の主体は組織から労働者本人に変わってきている。社会情勢を考慮したセンターの運営が求められていることから、今後の方向性について検討していく。																

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 17 個性を活かし能力を発揮して働くことができるようにする
 【施策】 1 働きたい人は働けるようにする
 【基本事務事業】 1703 良好な労働条件の確保を図る

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 就労環境と就労機会の整備
 【基本計画区分】 504 【担当課】 3931000 商工観光課

【方針(目的)】
 労働者雇用の安定と退職後の安定を図る

【外部環境の変化】
 労働に関する問題を抱えている労働者の増加(労災認定自殺者の増加から)低金利のため、退職金を外部留保する意味が薄れている。労働の流動化が進み、退職金制度を無くす企業もある。

【取組み課題(現状と課題)】
 労働問題について悩んでいる労働者の救済の場としての相談窓口は意義があるが、相談内容が複雑化しており解決に繋がらないこともある。労働基準監督署などの更なる連携や司法による救済などの情報提供を充実する。利子補給が少ないため、内部留保する企業もあり、共済制度新規加入者が少なくなっているため、新規加入者を増やすための広報をする。

コード 配下事務事業名
 170301 労働支援事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]

相談件数 (件)	60	65	70
退職金共済加入社数 (社)	880	885	890

【内部要因(強み・弱み)】
 労働相談窓口を設置している。退職金補助制度がある

【目指す成果(今後の方針)】
 連携や情報提供をすることによって、できるだけ速やかに問題を解決し、労働者の安定就労を図る。事業主に広報することで、退職金制度を広め、労働者の退職後の生活の安定を図る。

【事務事業】 170301 労働支援事業

担当課: 3931000 商工観光課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			【事業費】	計画区分 一般事業			
				[H20]	[H21]	[H22]		[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
雇用の安定と退職後の生活の安定を図るため、労働上の問題を解決し、良好な労働条件を確保する	相談者の満足度 (%)	相談者の満足度/相談件数相談したことで解決した、若しくは解決の糸口を見つけることができ満足した人の割合	90	92	94	96	計画額 (一般財源) (単位:千円)	7,789 7,789	6,734 6,734	6,734 6,734	6,734 6,734
	退職金共済新規加入社数 (社)	市内の中小企業の事業所が中退共、特退共に新規加入した数	34	40	45	50	職員数 (単位:人)	0.5	0.5	0.5	0.5
【対象】 労働上の問題を抱えた市内の労働者	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 労働相談業務 退職金共済掛金補助金				

【事前評価コメント】

労働者をとりまく社会情勢が急速に変化しているため、多様なトラブルが発生してきている。解決若しくは解決の糸口を掴む手助けとしての機能は果たしているが、個人で解決することが困難なケースも多いので、専門機関の紹介などフォローの充実を図る。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 17 個性を活かし能力を発揮して働くことができるようにする
 【施策】 1 働きたい人は働けるようにする
 【基本事務事業】 1704 勤労者の福祉を推進する

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 就労環境と就労機会の整備
 【基本計画区分】 504 【担当課】 3931000 商工観光課

【方針(目的)】 市内における勤労者の文化及び教養並びに勤労意欲を高め、勤労者の福祉の増進を図る
 【外部環境の変化】 勤労会館の当初の設置目的が薄れてきている。
 【取組み課題(現状と課題)】 施設の老朽化などの課題や設置当時の役割と現在の利用状況を勘案し、施設の有効利用を図るため、今後の方針を決定します。
 コード 配下事務事業名 170401 勤労会館管理運営事業

【指標】 [H20] [H21] [H22]
 方針の策定 0 0 1
 (%)
 0 0 0
 ()

【内部要因(強み・弱み)】 勤労者の福利厚生に役立てるため、勤労会館が設置され、各種の事業が行なわれてきた
 【目指す成果(今後の方針)】 松戸駅周辺に集中する公共施設の1つとして、施設の有効利用が図れます。

【事務事業】 170401 勤労会館管理運営事業		担当課: 3931000 商工観光課				会計区分 一般会計					計画区分 一般事業					
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
勤労者の文化及び教養並びに勤労意欲を高めるために施設を提供し講座を開催する	勤労会館の利用率 (%)	勤労会館利用時間/総開館時間利用率を把握することで、利用状況が把握できる	59.3	62	63	64	計画額 (一般財源) (単位:千円)	20,497	20,528	20,528	20,528	20,497	20,528	20,528	20,528	20,528
	勤労会館利用者数 (人)	勤労会館年間利用者数	83912	83950	84000	84050	職員数 (単位:人)	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
【対象】 市内在住在勤の勤労者	()		0	0	0	0	【関連する業務名称】 講座開催等業務 管理代行業務 施設維持業務 施設整備業務									
【事前評価コメント】 施設の老朽化が進んでいる。建て替えをしないのなら、大規模な修繕が必要となる。																